

APRSAF-28 オンライン水ロケット大会

日本代表選考 距離計測・測定時のビデオ撮影について



製作した水ロケットを、生徒一人一機ずつ、目標点に向かってなるべく近く着地させるように打ちあげてください。

審査は記録のみでは行いません。作文、水ロケットのレポートの内容と合わせた総合評価にて行います。

***安全に十分に注意し、撮影、打ち上げを行ってください**

水ロケット本体について

- ・チームで**3機**、水ロケットを製作し、生徒**1名**につき**1機**打ちあげてください。
- ・ペットボトルは**1.5L（炭酸用）**のものを利用してください。
- ・**1段式**のものを作成してください。
- ・安全上の理由により**空気圧は最大で5 bar**とします。
- ・危険物、電子機器は使用不可ですが、そのほかの材料や形は自由です。

測定方法

- ・打ち上げ場所から**60m**先に目標地点を設定してください。
- ・目標点に向かって、水ロケットを打ちあげ、目標と着地点（最初に地表についた点ではなく、水ロケットが転がり止まった場所での水ロケットの一番的から近い点）の距離を計測ください。

ビデオの撮影

「打ち上げビデオ撮影手順」をよく読み、打ち上げ→水ロケット着地→距離計測の様子 まで撮影を止めず、ワンカットで撮影したビデオを提出してください

記録の提出

目標点からロケットが着地した点（最初に地表についた点ではなく、水ロケットが転がり止まった場所での水ロケットの一番的から近い点）までの距離を計測し、記録提出用紙に記入、ご提出ください。

※オンライン国際大会は、個人競技になります。生徒一名それぞれで打ち上げた記録を提出していただきます。

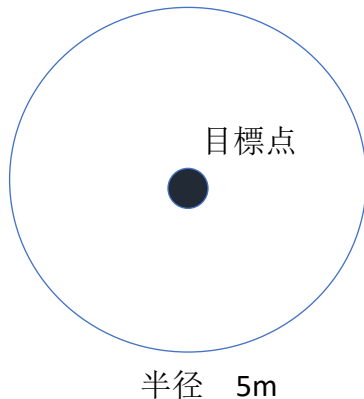
打ち上げビデオ撮影手順

※安全に十分注意し、リーダーの指導の下、十分に離れて撮影してください。

1. 打ち上げ場設営

打ち上げ場所から60m先に目標点設置する。

目標点が分かるように、印を置いてください



目標点から半径 5 mの地点が分かるように印を置いていただくと、確認がしやすくなります。
※必須ではありません

2. 打ち上げ、録画

「発射の少し前から録画開始→発射→水ロケットの着地→距離計測」まで、ビデオを切らずに続けて1画面で撮影してください。上記が確認できれば結構です。携帯電話のカメラ等での撮影も可。

サンプル動画

<https://youtu.be/-qS74iF8GLk>



Demonstration video for water rocket launch

youtu.be

APRSAF-28 オンライン水ロケット大会

日本代表選考 距離計測・測定時のビデオ撮影について



注意事項

- ・着地点はインパクトポイントではありません。水ロケットが落下し、転がって止まった地点です。止まった地点で、機体の一番的から近い点からの的までの距離を測定します。
- ビデオを途中で切らず、ワンカットで距離計測の様子まで撮影してください。編集は行わないこと。
- 計測時は、目標点、着地点それぞれに印を置いてください



※印に指定はありません。写真のようなものを着地点用に作成すると便利です。

- メジャーのメモリが目標点、着地点共ビデオで確認できるように撮影して下さい。

メモリが確認できるように撮影

